

【福祉厚生部】

福祉厚生部は、町内会の「部」として一番新しく『少子高齢化の時代に対応し、高齢者や未就学児童等のため福祉、厚生の活動を行う』ことを職務として、2012年（平成24年）4月総会にて承認、新設されました。

いち早く「部」の重要な活動として高齢者、独居世帯などの見守り活動を推進する「見守り活動協力員」を6月発足しました。

当初は36名の見守り対象者を38名の協力員さんが訪問や声かけ、戸口からの見守り活動を行ってきました。今現在31名の協力員さんの下、見守り活動を今年（2023年）で11年目になり、なお活動を継続しております。

超高齢化社会となり、平成30年に続き令和4年度に行った「町内アンケート調査」でも、高齢夫婦世帯からお一人世帯、身体に不安をお持ちの方など見守りを必要とされる方々が、町内に多くいらっしゃる事が分かっています。

地域の「安心・安全な生活」をと願い、行う見守り活動も、協力員さんや私達だけでは不可能と思われれます。

地域の皆さまの優しい気持ちが、近隣の高齢者、独居世帯の方々には大きな安心に繋がると思いますので近隣への「目配り・気配り」どうか宜しく願い申し上げます。

2023.12.01

福祉厚生部長 仲谷 幸子